

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ハートシード風【放課後等デイサービス】		
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日	～	令和7年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日	～	令和7年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の専門職を配置しています。作業療法士、言語聴覚士、臨床心理師、社会福祉士、保健師、保育士、児童指導員が配置され、それぞれの専門性を発揮しながら、チームで個々のお子さまの発達や特性に応じたきめ細やかな支援を提供しています。	多職種の専門職がいることで、様々な視点を持って支援をしています。活動後の振り返りの中で、意見を出し合い、より良い支援が出来るように努めています。 まな子どもクリニックの医師、公認心理師とのやりとりも積み重ねています。	多職種がいる良さを活かし、様々な専門職による職員間での研修を実施していきます。
2	親子参加の日を設けており、実際にお子さまと関わりながら、お子さまの特性や接し方を一緒に考えながら学んでいきます。他のご家族と出会い、語り合う中で多種多様な価値観や子育て感を知り、“我が家流”を育んでいきます。	月1回程度、保護者同士の話し合いの場を設けています。日々の活動場面や、家庭や学校での出来事を共有しながら、お子さまとの関わりや声かけなどについて、一緒に考える機会を設けています。個別支援計画や半年毎のモニタリング計画の説明の面談を丁寧に行っています。	個別支援計画や半年毎のモニタリング計画、面談を丁寧に行っています。日頃からの保護者の方とのコミュニケーションや共有することを大事にしています。
3	小集団の活動の中で、人との関わり、コミュニケーションを大切にしながら、お子さま主体性を発揮し、自信を育てていきます。	自分がやりたい事を提案する場や、“今日の活動”をみんなで話し合いながら決める時間を大切にしています。安心できる大人がいる中で、その子らしさが発揮できるように、活動の組み立てを行っています。	1人ひとりのお子さまの理解を深めるために、支援場面等を通して、お子さまの姿や関わり方を保護者の方と一緒に考えていく姿勢を大事にしています。喜んだり、時には悲しんだりを保護者の方と共有しながら、育ちを見つめていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容によっては、活動スペースが十分に確保できないことがあります。活動していく中で、スペースをどう有効的に使っていくかを日々試行錯誤しながら活動を考えていく必要があります。	特に親子参加の日は、スペースの確保には難しさがあります。伸び伸びと身体を動かすには、狭さを感じさせてしまう場合があります。	できるだけ密にならずに活動ができるような設定は、常に心掛けています。職員人数もその都度調整しながら活動を実施していきたいと思っています。公園など屋外で思い切り身体を動かしたり、散歩や図書館に行く等の屋外活動も取り入れています。
2	下校後に来所される為、それぞれお子さまの来所時間が異なります。メンバーが揃うまで時間が掛かってしまう為、外活動の時間の確保が難しく、室内での活動が主になってしまいます。	メンバーが揃うまで時間が掛かってしまいますが、“今日の活動”をみんなで話し合う時間を大切にしたい思いがあります。	室内活動の中でも、思いっきり身体を動かせるような遊びや、制作や季節を感じられるような活動など、多様な遊びが経験できるように考えていきます。 外活動を実施する際には、事前に案内をしたり、長期休みを利用して取り入れる等の工夫をしていきたいと思っています。
3			